巻頭言

まなざし高く

心理臨床センター副センター長　杉　若　弘　子

2010年11月に新町通今出川下ル「継志館」にて産声を上げた当心理臨床センターは，2019年10月に新町通を北上して今出川を上リ，現在の地「尋真館」に移転しました。センターの開設から13年を経て，この「心理臨床科学」も，第13巻1号を刊行する運びとなりました。本号には，2本の研究論文をはじめ，講演録や国内外の学会参加記などバラエティに富む内容が掲載されています。いずれも，当センターでの実践活動に参加し，臨床心理学領域の研究に取り組むスタッフと相談研修員でもある大学院生の手によるものです。

本学大学院心理学研究科臨床心理学コースでは，実践的な活動とともに，臨床技術の開発と創造に取り組むことができるサイエンティスト・プラクティショナーの養成を目指しています。当心理臨床センターは,そのための教育と研究に欠かすことの出来ない活動拠点です。サイエンティスト・プラクティショナーとしての力を身につけること，そうあり続けること，そして育てることのどれもが容易なことではありません。関係各位のご理解とお力添えがあってこそ，達成され，継続できる志だと言っても過言ではないでしょう。

先行きの見えないコロナ禍への対応に追われた3年を経て，今，われわれも次なる課題に向かう時期を迎えていると感じています。これからも，まなざし高く，丁寧な取り組みを心がけて参ります。皆様には，引き続きご支援の程何卒よろしくお願いいたします。